

岡崎市医師会 はるさき健診センター

■ データ (もの)

所在地	岡崎市針崎町字春咲 1 番 3
施設	地上 3 階、塔屋 1 階 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 延べ面積 8,446.35 m ²
竣工 設計	平成 23 年 12 月 株式会社日建設計

■ 講評

当施設は、住宅と多目的施設が調和した環境の維持と地区の発展をめざして市の春咲地区計画に基づき再開発された JR 岡崎駅南東の丘陵地にある。南側に隣接する住宅地との間には、市民の意見に基づく高さの植栽帯を設け、北側の中学校との間には、230 台分の平面駐車場がある。

1 階のエントランスホールには、2 階 3 階の健診フロアからの光が注ぎ込みとても明るい印象である。ホール右手前にあるエレベーター内部のボタンは、たいへん大きいためわかりやすく押しやすい。

健診フロアの受付カウンターは、エレベーターの目の前にあり、受付時に他の受診者の視線が気にならない雁行タイプの配置になっている。また、車椅子利用者が記入しやすいように専用のカウンターも用意されている。

通常、医療機関はプライバシー保護のために、受診者の動線を建物の内側にするような設計となりやすいが、当施設の健診フロアは 3 面にわたる外周廊下となっている。土地の高低差とグラデーショフィルムによって、外部からの視線が気になることはなく、むしろ、明るさと視界の良さにより、リラックスした気持ちで過ごすことができる。

男女別の空間で健診が行われるように設備が整えられており、健診項目別にエリアが明確となるように壁や床の色を分けている。色を用いたエリア表示は、受診者の行き先を示すとともに、落ち着いた雰囲気演出している。

健診が済んだ後は、3 階のカフェテリアでヘルシーな食事を摂り、中学校のグラウンドの元気な生徒の姿を追い、更にその先に広がる住宅地を眺め、家族や生活、そして自らの健康を考える機会となるだろう。

単に健診を受診するだけでなく、年に一度のこの機会を、ゆったりとした気持ちで生活を見直す時間として過ごす。受診者の健康増進を促す空間として、当施設の「やさしさ」がもたらす成果が期待される。

(白石知子)



外観